

農業を知ろう

給食協会では食育（地産地消）の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため収穫体験を行っています。今回は八幡西区折尾東小学校5年生67名が若松区有毛の松浦さんの畑で“だいこん”の収穫体験をしました。



天気は快晴です。
広いだいこん畑の中で松浦さんにだいこんの抜き方を教わります。



だいこんの首を持ち、ねじりながら抜きます。そうすると土があまりつかないそうです。
わあ！大きい！とあちこちから歓声が上がります。



生産者の松浦さんからは「農業は自然相手の仕事。天候しだい大きく結果が決まる。」等のお話がありました。
一生懸命育てた野菜をみんなに食べてもらうことが野菜作りの喜びだそうです。

そーっと葉をかき分け、大きなだいこんを探します。どれにしようかな？強く動かしただいこんは地中の小さな根が切れて、それ以上成長できなくなります。根を切らないように慎重に探します。



普段の収穫を実演してもらいました。
だいこんを決まった長さにするために葉や根を切る作業は機械を使います。人の手で行うより3倍速いです。

